

(別紙様式4)

放射光実験ステーション遺伝子組換え体使用届

平成 年 月 日

放射光共同利用実験のため、下記の遺伝子組換え体を持ち込みますので届け出ます。実験にあたっては、裏面の注意事項を遵守致します。

共同利用実験課題番号		課題有効期間	平成 年 月から 年 月
課 題 名			
課題代表者 機関名・部局・職 氏名・連絡先(Tel, メール)			

実験責任者が上記と異なる場合、下記にも記入下さい。

実験責任者 機関名・部局・職 氏名・連絡先(Tel, メール) 所在地	(〒)
--	------

実験従事者

氏名	所属	身分

遺伝子組換え実験安全管理者（組換え体等を作製した機関）

機関名・部局・職 氏名・連絡先(Tel, メール) 所在地	(〒)
-------------------------------------	------

組換え体の性質	宿主／ベクター系	核酸供与生物種	供与 DNA 遺伝子の性質	封じ込めレベル
持ち込み（実験）期間	平成 年 月 日 時から 年 月 日 時			
使用実験室	BL-1A, 1A下流試料調製室, BL-5A, BL-17A, AR-NW12A, AR-NE3A			

受付日	平成 年 月 日	安全主任者確認	
-----	----------	---------	--

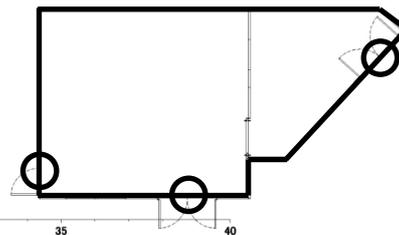
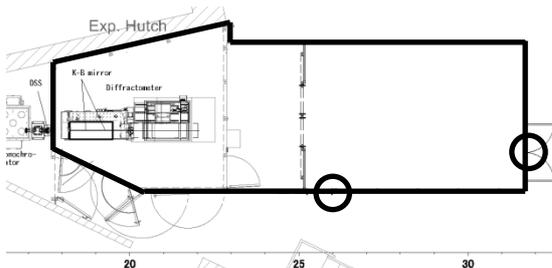
【注意事項】

1. 実験責任者および実験従事者は、所属機関で遺伝子組換え実験教育訓練を受講済みであること。
2. 持ち込むサンプルは、所属機関で遺伝子組換え実験の申請済みかつ有効期間内のもので、物理的封じ込めレベルがP1であること。
3. 持ち込むサンプルは凍結結晶のみで、持ち込んだ結晶は実験終了後直ちに全て持ち帰ること。
4. サンプルはドライシッパーなどの密閉容器に入れて持ち込み、持ち帰ること。組換え体の取り扱いとは下図のP1レベル実験室内のみで実験室のドアを閉じ行い、サンプルを放置したまま離席しないこと。ただし、サンプルがデューワー等に収納された場合にはこの限りではない。
5. ユーザーの遺伝子組換え実験室から下図のP1レベル実験室までの経路は輸送に当たるので、組換え体の輸送の規定に従うこと。
6. 当該ビームタイム中は、遺伝子組換え実験中であるとの表示を入口（図中○印）に掲げ、BL掲示板にこの様式の1ページ目の写しを掲示すること。
7. 実験開始前に、消毒用試薬、上記表示板、オートクレーブバッグを実験室に備えるようすること。
8. 汚染が生じた際は直ちに実験を中止し、運転当番を通じて安全主任者に届け出ること。可能な範囲で汚染された場所の消毒を行い、用いた手袋等の廃棄物はオートクレーブバッグに入れて封をすること。

【P1実験室】 それぞれのビームラインで太線で囲んだ領域。

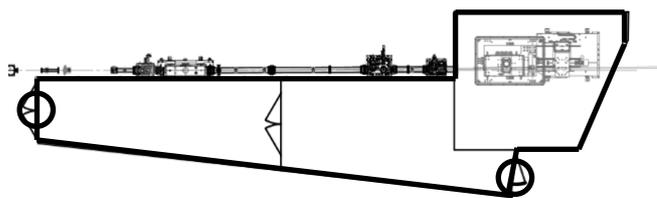
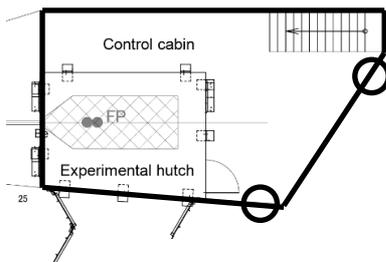
BL-1A 実験ハッチ、コントロールキャビン

1A下流試料調製用キャビン



BL-5A 実験ハッチ、コントロールキャビン

BL-17A 実験ハッチ、コントロールキャビン



AR-NW12A 実験ハッチ、コントロールキャビン

AR-NE-3A 実験ハッチ、コントロールキャビン

